第3回 和光市水道事業審議会 会議録

開催日	令和5年8月21日（月）
会場	市役所5階 503会議室
開会時間	14時00分
閉会時間	15時00分

議 題	
1	料金改定について
2	その他

審議会委員		事務局	傍聴者
出席	欠席		
秋葉 道宏		上下水道部長 佐々木 一弘	1 名
藤田 則章		次長兼企業経営課長 前島 祐三	
反町 耕記		企業経営課調整幹 伊藤 英雄	
松澤 つぎ子		水道施設課長 本橋 勝己	
佐々木 好評		企業経営課課長補佐 矢萩 美和	
関口 泰典		企業経営課統括主査 野口 智一	
成田 真作満			
浜口 武			
深井 宏之			

事務局	和光市水道事業審議会条例第6条第2項に基づく会議成立の確認
	長坂会長の審議会委員辞任報告
	和光市水道事業審議会条例第5条第2項に基づく会長及び副会長の選出（互選） → 会長は 秋葉道宏 副会長に、それにより副会長は 浜口 武 委員に決定
	市民参加条例の規定に基づく会議の公開、会議録の公表、会議録作成のための録音の確認
	配布資料の確認
	上下水道部長挨拶
	和光市水道事業審議会条例第5条第4項に基づく議長の決定

【議題1】 料金改定について

事務局	<p>前回までの審議においては、水道事業全体で令和6年度からの5年間で水道の安定供給に必要な総括原価は59.3億円であり、この費用を回収するために必要な新料金体系を検討する、というところまでを行ってきた。本日は、どのくらいの水量を使用したらいくらになるか、といった具体的な金額を示しての検討となる。</p> <p>第3回審議会資料（概要版）に沿った説明</p> <p>建設改良費と資産維持費に関する前回質問について、資料（施設更新事業と財源の関係）に沿った説明</p>
-----	--

【質疑応答】

問	最終4ページの表は2か月の料金か？
答	2か月の料金 同ページ下のグラフは1か月で示されているが、これは統計など全国的には1か月であらわしているため。
問	CASE2は改定率を一律7%ということだが、7.0%~7.4%のズレがあるのは？
答	改定率は一律7%で計算をしているが、その数値を丸めて（切り上げて）改定案としているため、その分の差異がそれぞれに生じている。
問	丸めて（切り上げて）いるのはなぜか？
答	これまでは消費税が内税となるような料金設定をしていたが、分かりにくく、また事務処理上も煩雑となるためこのような改定案とした。

問	CASE1とCASE2について市の考えは？
答	CASE1は和光市の水道料金と乖離している部分があり、公平性の観点から、CASE2の方が市民の理解を得やすいかと考えている。
秋葉会長	CASE1ではなくCASE2が良いのではないかとと思うのですが、いかがでしょうか？ (意見なし) それではCASE2ということで、審議会としては答申したいと思います。

【議題2】その他

事務局	条例改正に関する報告（追加で資料配布） 諮問に対する答申を受け、12月議会で水道料金に関する条例改正を行う予定だが、その際に水道利用加入金の変更も一緒に行う。 変更内容は、端数の調整をする軽微なものであり、審議会に諮ることなく事務処理で行う。
-----	---

【質疑応答】

問	今回5年間で料金改定について審議しているが、水道料金の見直しは今後行うのか？
答	例えば5年のスパンの中で、継続して見直しを行った方がよい。 5年後以降については、その時の様々な状況を確認しながら検証する。
問	水道事業全体の収入でいうと、水道料金の他に水道利用加入金や配水管工事負担金などもあると思うが、これらは今回の算定には何か関係しているのか？
答	その他営業収益として含まれている。
問	それらに関しては金額の改定などしないのか？
答	今回は端数処理のみを行う予定だが、来年度以降、他市の状況等を踏まえながら、改定について審議会に諮問することになる。

事務連絡

事務局	次回 第4回審議会は、10月11日（水）午後2時から 監査室での開催を予定 これまでの審議内容に基づき、市長の諮問に対する答申をまとめる。
-----	--